



2016年 クリスマス・メッセージ

親愛なるマリアニスト家族の皆さま

2016年のクリスマスのお喜びを申し上げます。クリスマスはすべての人の救いのために神の子が、聖母マリアの子としてお生まれになったことを記念します。私たちはマリアニストとして「受肉の神秘」に思いを馳せ、神が直接に関与なさったこと、私たち一人一人と共におられる恵みに感謝します。この特別な時にあたり、神が私たちに与えて下さった限りない恵みについて考察しましょう。

今年のクリスマスには特別な意味があります。私たちは「いつくしの特別聖年」を祝ったばかりですが、私たちが救い、限りない愛で満たして下さる神に感謝します。また「汚れなきマリア修道会」と「マリア会」創立200周年の記念に当たり、私たちマリアニストが、神をはじめ創立者たちや先輩会員からいただいた数々の恵みに感謝する時でもあります。マリアニスト家族の各分野は、それぞれの仕方で教会と世界における自分たちのアイデンティティーの確立に取り組みます。このアイデンティティーは、私たちのカリスマから直接生まれるもので、今日もなお生き続けるものです。このことは、私たちを原点に立ち帰らせ、マリアニストとしてのミッションに駆り立てます。教皇フランシスコが指摘するように、現代の挑戦は福音が示す「良い便り」に帰着することです。神の子が人となられたことから始まり、この「良い便り」が人間生活のあらゆる面に反映し、「神の民」の交わりに導くのです。



羊飼たちが天使のお告げを受けて飼い葉桶に急いだように、博士たちが星を追って救い主を見出したように、無力な幼子が貧しい宿場に身を託したように、聖母マリアと聖ヨゼフが愛情込めて礼拝したように、日常茶飯の中でキリストを見出さなければなりません。私たちの世界は、まだまだあがないを必要としています。世界や近隣、時には、私の心の中に見られるさまざまな貧しさ、苦しみ、不和や争いは「受肉の神秘」が未だに成就していないことを意味しています。私たちは、特に貧しい人、移民、暴力や不寛容、傍若無人な態度に苦しむ人、また病気や孤独、希望をなくした人々に注意を払わなければなりません。そうです。私たちはキリストが今も私たちの中に来られることを待ち望みます。

「でも、私たちは希望の中にいます。なぜですか？ それは、神が私たちが愛して下さるからです。父なる神は、そのひとり子を私たちの一員として、私たちの貧しさの内にも、私たちの貧しさのためにも、終わることのない現存をもって、私たちが豊かにして下さるからです。私たちは、マリアニストとして、この恵みに応える証人とならなければなりません。いつでも、どこでも、どの人のなかにも、イエスを見出すことから始めなければなりません。完全には理解しなくても、物事を変容できる神の愛に信頼した聖母マリアは、飼い葉桶の中に、カナの婚礼において、カルワリオにおいても我が子をご覧になりました。私たちもマリアニストのミッションに不動の希望をもって対処しましょう。私たちの内に神がおられることを明らかにしましょう。高間において使徒たちと共におられた恵みあふれる聖母マリアが聖霊を受けられたように、私たちも聖霊に強められ、「世界にむかって羽ばたきましょう。良い便りを伝えるために」。

メリー・クリスマス !

マリアニスト家族世界評議会

2016年 マリアニスト家族世界評議会

「
・
・
・
わたしは、
民全体に与えられる大きな喜びを告げる。
(ルカ二・十)」